

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和4年11月24日

和泉市長 あて

団体名 いずみこどもAID  
代表者名 北野 美香 増田 千英美  
所在地 和泉市光明台 2-4-23  
電話番号 090-6730-9653

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	学校へいきづらいこどもの居場所「CoCo」 学校へいきづらいこどもの保護者の交流の場 「CoCo de おしゃべり」
申請コース	(1) 公益活動支援コース ■チャレンジコース                      □ステップアップコース (2) 地域活性化コース □地域活性化コース
事業費総額	_____ / 53,138 円 (うち、対象経費 _____ / 53,138 円)
支援金 交付申請額	_____ / 100,000 円

1. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。

(  はい ) ・  いいえ )

2. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団体概要調書

フリガナ	イズミコドモエイド		
団体名	いずみこどもAID		
団体の目的	こどもが安心できる環境づくり		
市内事務所の所在地	〒594-1111 和泉市光明台2-4-23 【専用事務所 ・ <u>住居と兼用</u> ・ その他（ ）】		
	電話	090 (6730) 9653	FAX ( )
フリガナ	キタノ ミカ		
代表者氏名	北野 美香		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※	電話	
		FAX	
(住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。			
設立年月	平成18年4月	主な活動地域	和泉市
会報等の発行	有(年2回発行) <u>無</u>	会員数	45人
メールアドレス			
ホームページ	<a href="http://izumi-kodomo-aid.org/">http://izumi-kodomo-aid.org/</a> ブログ <a href="http://ameblo.jp/cocoizumi2014/">http://ameblo.jp/cocoizumi2014/</a>		
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャイルドライン事業</li> <li>・こどもの居場所事業</li> </ul>		
主な活動の実績	平成12年 チャイルドラインいずみ運営委員会発足 平成18年 チャイルドラインいずみAID設立 市と協働でチャイルドラインいずみの運営 平成26年 いずみこどもAIDに名称変更 平成26年9月～ こどもの居場所「CoCo」の運営		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額(円)
	令和2年度	和泉市あなたが選ぶ 市民活動支援事業支援金	30,000円
	令和3年度	和泉市市民活動推進支援金	44,000円
	令和4年度		100,000円

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

1 事業名	学校へいきづらいこどもの居場所「CoCo」 学校へいきづらいこどもの保護者の交流の場 「CoCo de おしゃべり」
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input checked="" type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
<p>① 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等</p> <p>子どもの人数は年々減少しています。けれど、2021年度の小中学生の不登校は約24.5万人となり、前年度より約25%増加しました（2022年10月27日発表の文部科学省調査より）。</p> <p>「学校がしんどかったら行かなくてもいい」と最近よく言われるようになってきました。学校に行く、行かないに関わらず、子どもには学ぶ権利があり、社会はその権利を保障する義務があります。（子どもが学校に行く義務ではありません。）現実には学校に行かない子どもの学ぶ権利は侵害されたままの状態です。</p> <p>学校に行かないことに社会が若干寛容にはなってきましたが、いざ自分の子どもがそうなる、保護者は戸惑い、不安になります。しかしながら、情報収集できる場・不安を吐き出す場があまりなく、一人で抱え込んでいることが多いのが現状です。</p>	
<p>②事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果</p> <p>〈こどもの居場所〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が大切にされていると体感することで、自己肯定感を育む</li> <li>・家族以外の人（スタッフ・他の子ども）と関わることで、社会性や人との距離感を身につける</li> <li>・自分の気持ちを大切にしながら自分のペースで過ごすことで、心のエネルギーがチャージされ、自らの力で進み出す</li> </ul> <p>〈保護者の交流の場〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者自身もとても疲れていることも多く、自分の気持ちを吐き出すことで気持ちが少し楽になる ※「保護者が楽になること」自分が不登校になることで保護者に申し訳なく思っている子どもも多く、このことはとてもポジティブな要素である</li> <li>・保護者が交流の場に参加することで、他の保護者の経験談や不登校に関する情報を得て、子どもとの関わりの手がかりがつかめる</li> </ul>	
4 事業内容（※別紙添付可）	
<p>①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。</p> <p>【学校へいきづらいこどもの居場所の開設】「CoCo」 来所した子どもとスタッフが一緒に過ごす。スタッフは、指導や助言をするのではなく、こどもの気持ちに寄り添いながら、子どもが自分で選んで動いていける環境をつくる。</p> <p>【保護者同士の交流が持てる場の提供】「CoCo de おしゃべり」 学校へいきづらいこどもの保護者が、自分の気持ちを話せる場を設ける。 不定期に講師を招き、保護者の気付きにつなげる 「CoCo de おしゃべり拡大版」講師や不登校経験者などを招き講義形式、定員を増やした回の実施（年に1～2回）</p> <p>【その他】スタッフを養成する講座、スタッフの継続研修の実施</p>	

② 実施期間（日時）	「CoCo」 「CoCo de おしゃべり」 (祝日除く)	毎週火曜日（8月と祝日、20日は除く） 第1・第3金曜日・第3土曜日
③ 実施場所	「CoCo」 「CoCo de おしゃべり」	和泉市万町 弘法寺内 和泉市内公共施設
④ 主な対象者	「CoCo」 「CoCo de おしゃべり」	小学生から18歳までのこども 学校へいきづらいこどもの保護者
⑤ 参加予定者数	「CoCo」 「CoCo de おしゃべり」	登録者5名 1回5名 拡大版は10名
⑥ 告知方法	ブログ・インスタグラム・メルマガ配信 チラシ配布・広報いずみ掲載・泉北コミュニティ掲載	

## 5 事業スケジュール

次期（月）	内容
4月 ～ 3月	<p>○「CoCo」（43回）毎週火曜日 ※8月と祝日、20日が火曜の場合は休み</p> <p>○「CoCo de おしゃべり」（21回） 毎月2回 和泉市内の公共施設で開催 年に1回、参加人数を増やした拡大版の開催</p> <p>○見学・説明会・居場所体験・登録者の保護者との個人懇談会</p>

## 6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照

（実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。）

① 公益性	<p>不登校の子どもは年々増加しており、低年齢化も進んでいます。和泉市も例外ではありませんが、不登校の子どもが通える場所は和泉市には教育センターの適応指導教室しかありません。大阪市内まで行くと民間のフリースクールもありますが、高額な費用がかかります。多様化する社会の中で、しんどいと感じる子どもの状況も多様です。学校以外の居場所も自分に合うところに通うことが望ましいと考えます。居場所はそのような子どもの選択肢の一つとして必要であると考えます。</p> <p>不登校または学校に行きづらい子どもを持つ保護者は、周りに気持ちを話せる場がなかなかなく、孤立しがちです。保護者が周りにつながり、情報共有や気持ちを受けとめてもらうことで、保護者自身が少し楽になり、その結果、子どもの気持ちの受けとめ方や声かけにも変化が現われ、子どもにも良い影響が及ぶと考えます。また、親戚や知人ではなく、全く知らない人にだからこそ話せる事もあるのではないかと考えます。</p>
② 継続性	<p>学校以外でもフリースクールや塾、習い事なども居場所となりますが、費用がかかります。「CoCo」では、家庭の経済状況に関わらず「学ぶ権利」を保障する場を作りたいと考えています。そのため、利用者からは登録費（保険代含む）のみとし、補助金やさまざまな方のご支援、バザーなど（ここ3年、コロナの影響でできず）で運営資金を調達しています。</p> <p>学校以外の居場所や学校に行かない子どもを持つ保護者同士が交流できる場はまだまだ少ない状況であるため、本事業を継続し周知していくことで、子ども本人やしんどさを一人で抱えている保護者にも浸透させていきたいと考えています。</p>

③実行性	<p>平成 26 年から居場所を運営し、約 15 名のスタッフが子どもと関わっていきます。多くの人と関わりを持つことで、価値観や距離感の違いを感じてもらうことができるのではないかと考えています。</p> <p>保護者交流会は平成 27 年から実施し、スタッフ 2 名体制で当日の運営をしています。近くで開催されるならちょっと行ってみようかと思う人もいないかと考え、令和元年より市内公共施設の 4 カ所を順に巡るよう開催しています。公共施設は駐車場の心配もなく、参加しやすいように思います。不定期で、子ども支援に関わる方を講師に迎え、専門的助言や気づきを得る機会を持っています。次年度より、平日午前中仕事の保護者も参加しやすくなるよう、土曜午後と平日夜の開催を企画しています。</p>
④協働性	<p>不登校または学校に行きづらくなることは誰にでも起こりえます。今はそうではなくてもこのような居場所があることを知っておいてもらいたいと考え、公共施設へのチラシ配架やポスティングなどで周知に努めています。保護者がこの交流会で知り合い、その後も交流を続けているということもよく聞いています。また、子どもに関わるさまざまな団体や CSW さんとのつながりを持ち、事業の周知や交流を図っています。</p> <p>また、最近和泉市内でも保護者交流会を開催している方も増えてきました。その方々とも連携していきたいと考えています。</p>
⑤公開性	<p>チラシを作成し、市内公共施設に配架。和泉市教育センターより市内小中学校へチラシを送付しています。広報いずみや泉北コミュニティにも掲載して周知をはかっています。月 1 回のメルマガ配信やブログ、インスタを通して、活動の様子が伝わるよう努めています。</p>
⑥発展性 (先駆性・ 展開性) (集客性)	<p>不登校は年々増加しているにも関わらず、その対応はなかなか進んでいないのが現状です。保護者だけで、または教師だけで抱えるのではなく、地域や関係者みんなが連携して、今のその子どもに適した環境を提供していくのが望ましいと考えています。「CoCo」もその選択肢の一つとして在り続けたいと思います。</p> <p>不登校は、一時的な場合もあれば、長期に渡る場合もあります。不定期ではありますが何年も参加している保護者もおられ、「行きつ戻りつ」する子どもの様子を聴きながら、保護者の喜びや不安、しんどさに共感し、寄り添っていききたいと考えています。</p>

この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第4号（第7条・第15条関係）

## 収支予算書

事業の名称：学校へいきづらいこどもの居場所「CoCo」  
学校へいきづらいこどもの保護者の交流の場「CoCo de おしゃべり」

### 1. 【収 入】 （単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	100,000 円	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	5,000 円	子ども登録費用 1,000×5 人
自主財源	48,138 円	
合 計	153,138 円	

### 2. 【支 出】 （単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	20,000 円	おしゃべり講師謝礼(5,000 円×4 回)
旅費	2,400 円	駐車場代 100 円×2 人×12 回 (おしゃべり有料駐車場の施設)
消耗品費	3,000 円 9,000 円 11,000 円	チラシ用紙代A4 衛生用品（キッチン・トイレ・コロナ関連） 居場所イベントデー製作材料費 1,000×9 回 居場所イベントデー食材費 1,000×2 回
食料費	600 円	おしゃべり講師お茶代 150 円×4 回分
印刷製本費	5,000 円 2,000 円	チラシ印刷費（カラーA4両面） コピー代（カレンダーA4 カラー 保険）
役務費	3,108 円 4,000 円 4,000 円	書類郵送料（保険84円・カレンダー84円×3人×12） ボランティア保険 800 円×5 名(子ども) ボランティア保険 800 円×5 名(スタッフ)
使用料及び賃借料	34,030 円  55,000 円	シティプラザ(AM) 1760 円×6=10,560 円 北部リーゾの和室(AM) 1200 円×6= 7,200 円 南部リーゾの和室(AM) 1150 円×6= 6,900 円 人文センター(AM) 1250 円×5= 6,250 円 人文センター(PM・拡大版) 1 回 3,120 円 弘法寺（こどもの居場所 CoCo）
備品費(対象経費)		
備品費(対象外経費)		
合 計	153,138 円	
対象経費	153,138 円	

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。